

全国同時七夕講演会2016

七夕の星々と 天の川

「ささのはさらさら／のきばにゆれる／おほしさまきらきら／きんぎんすなご」はみなさんご存じの七夕の唄ですが、ここに歌われる「きらきら光る星さま」や「きんぎんすなご（金銀砂子）」とは何のことでしょうか？ここに歌われた星の代表が、こと座のベガ（織姫星）と、わし座のアルタイル（彦星）です。これらはどのような恒星なのでしょうか？そして、「金銀砂子」とは？（実は、美術における装飾技法のひとつなのですがご存じでしょうか？）。

このように、七夕というお祭りは、星と結びついて日本の文化の一部となっています。今回の講演では、そうした七夕に関係する星々について、天文学の視点からお話します。

★全国同時七夕講演会は、7月7日の七夕の夕方を中心とした前後の期間中に全国各地で同時に講演会を開催し、天文学の普及の輪を広げようとするもので、日本天文学会と天文教育普及研究会との共催事業として、本学天文台が実施するものです。

講師

河北 秀世（京都産業大学 神山天文台 台長 / 理学部教授）

7/9 (土) 17:00～18:00

京都産業大学 神山天文台 地下1階
サギタリウスホールにて開催

入場無料

予約不要

対象
小学生以上

主催 京都産業大学 神山天文台

共催 日本天文学会 / 天文教育普及研究会

後援 京都市教育委員会

その他 講演後は通常通り天体観望会を実施致します（19:00～21:00）。

※悪天候時の場合は宇宙の3D映像上映会を開催